化学物質・廃棄物の適正管理と汚染防止に関する科学・政策パネル設立に向けた公開作業部会第3回会合（OEWG３）

日　　程：2024年6月17日～6月21日
場　　所：スイス・ジュネーブ　参加国：約124か国・地域、54関係機関・団体（オブザーバー）
主な議題：パネルの設立提案の最終化と政府間会合の準備のための提言

背景

□2022年開催のUNEA（国連環境総会）5.2において化学物質・廃棄物の適正管理及び汚染防止の分野における独立した**政府間科学・政策パネルの設置**に関する決議を採択。

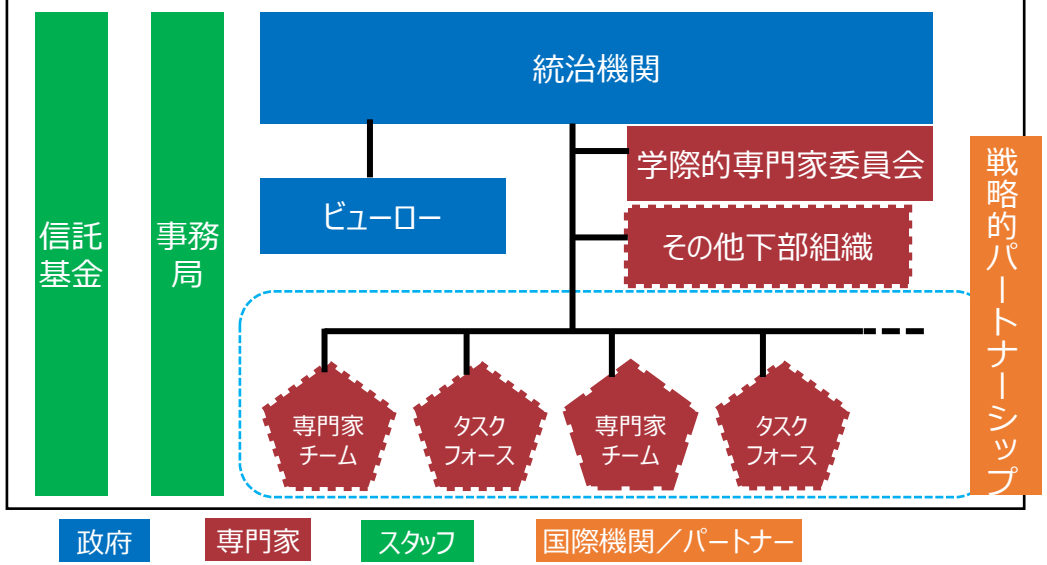
□公開作業部会（OEWG）を設置（政府で構成。国連機関等オブザーバー参加）し、**2024年末**までに科学・政策パネルの提案を用意。

□公開作業部会第１回会合(OEWG1）は2022年10月と2023年1月~2月の2部に分けて開催。**パネルの目的、主要な機能**※について決定。公開作業部会第２回会合（OEWG2）は2023年12月に開催。**パネルの設立提案草案**を議論。

主な結果

□大きな論点であったパネルの能力形成活動の内容等に合意。
□残る論点については、パネル設立に向けた政府間会合の直前に、公開作業部会の再開会合を行い（2025年１、２月頃開催予定）、設立提案の最終化を図った上でパネルの設立を採択する見込み。
□日本は２つの交渉会合の共同議長を務め、円滑な合意形成に貢献した（上写真）。

パネルの組織構造（一部調整中を含む）



※目的：人の健康と環境を保護するために、化学物質と廃棄物の適正管理及び汚染の防止に貢献する科学・政策インターフェースを強化すること
主要な機能：①ホライズンスキャニング（課題の特定と対応策の提示）、②現在の課題に関する評価、③最新の情報の提供、科学的研究のギャップ特定、科学者と政策決定者の間のコミュニケーション、知見の説明・発信、普及啓発、④科学的情報を求める途上国との情報共有、⑤キャパシティ・ビルディング